

Mpola mpola なムベンデ便り

最終号

青年海外協力隊 平成 26 年度第 4 次隊 氏名:佐藤結香 職種:医療機器 派遣国:ウガンダ

2 年間の活動を終え任地ムベンデ県から首都カンパラに戻ってきた。
最後の「Mpola mpola なムベンデ便り」では、「ムベンデとさよなら」をご紹介します。

①友人にさよなら

任地で過ごす最後の週末、沢山の友人たちに感謝の気持ちとさよならを伝える為、みんなのお家を訪問してきた。



↑ 病院の警備員さんとその家族



↑ 病院スタッフで、私生活でも沢山お世話になった親子。お母さん思いの優しい息子さん。



↑ ウガンダご飯の作り方を教えてくれたり、休日と一緒に過ごしてくれた家族



↑ 私が仕事から帰ってくるのを毎日笑顔で待ってくれたお隣さんの子供達。



・いつも行く商店のおばちゃん(写真左上)

・いつも野菜や果物をおまけしてくれたマーケットのおばちゃん達(写真右上)

・友人が経営する小学校の子供達(写真左下)



②スタッフにさよなら

任地ムベンデ県から首都カンパラに戻る日、最後のあいさつに配属先を訪問した。朝のミーティングで時間をもらいスタッフに向けて挨拶をした。この2年間はスタッフと一緒に、沢山泣き、沢山怒り、沢山笑った。辛い時、いつもそばにいてくれたのは病院スタッフだった。困らせるのも怒らせるのも病院スタッフだった。でも助けてくれるのも病院スタッフだった。最後は笑って帰りたいたいと思ひ、泣かずに笑ってお別れをしてきた。



↑悩んだ時はいつも良いアドバイスをくれて、忙しい時はお昼ご飯を作ってきてくれたお母さんのような看護師さん。



↑チームワークが素晴らしい救急外来スタッフ



↑ オペ室のドクターと看護師さん。
一緒にティータイムを楽しみました。



↑ 結核病棟スタッフ。
私を孫のように可愛がってくれました。



↑ 内科病棟の看護師さん達。
5S 活動では喧嘩することもありました。



↑ 人事部の秘書さん。
歳も近くよくおしゃべりをしました。



↑ 会計部の秘書さん。
お姉ちゃんのように接してくれました。

Records Department の秘書さん(写真右)→
毎日くだらないお話で笑い合いました。





↑エンジニア部の同僚で配管工
私が知らなかった水道修理や配管設備に
ついて優しく教えてくれました。
また現地語を沢山教えてくれました。



↑私の大切な Counterpart
意見が合わず喧嘩したこと、2人で泣いたこ
と、2人で沢山笑ったこと、今では全てが良
い思い出です。



←5S マネージャー(写真右)と QI Focal
Person(写真左)。
2人の「病院を変えたい」という気持ちに私も
支えられました。

配属先で最終活動報告をした後の集合写真→
いつも私を気にかけてくれたドクターや
Administrator 達。



③最後に

2年間、「Mpola mpola なムベンデ便り」を読んで頂きありがとうございました。

「Donationされる医療機器をどうにかしたい!」その思いで協力隊に参加しました。ウガンダで活動し、想像していた以上に多くの課題があること、また自分の知識・技術不足を痛感しました。同時に2年間で何かを変えることの難しさも改めて感じました。

帰国後は大学院に進学します。2年間で得た経験を活かし、自分が感じた課題解決に取り組んでいきたいと
思います。

2年間、大きな事故や事件に遭うことなく、また健康に生活できたこと、いつも日本から支えてくれた家族、友人、恩師に感謝致します。

ありがとうございました。

平成 26 年度第 4 次隊 ウガンダ 医療機器

佐藤結香